

① 制度の概要

経済安全保障推進会議が定めた研究開発ビジョンの実現に向け、**輸送機等の革新的な構造を実現する複合材料等の接着技術**に関する要素技術の研究開発を支援する制度です。中長期的に我が国が国際社会において確固たる地位を確保するための先端的な重要技術の獲得を目指します。

本制度は競争的研究費制度に該当し、JSTが実施する個別研究型の研究開発構想の一環として位置づけられています。特に複合材料の接着界面における非破壊観測技術の革新的な実験手法の開発に焦点を当てています。

② 支援内容

□ 研究開発支援

- 複合材料等の接着技術確立に資する革新的計測技術等の要素技術研究
- 複合材母材の埋没界面で起こる接着（化学反応）の非破壊観測手法の開発
- 分子の局所構造状態変化を観測する実験手法の確立

最大3億円

研究期間: 5年以内

③ 対象となる取組

【革新的計測技術の開発】

- 複合材料の接着界面における化学反応の非破壊観測技術
- 分子レベルでの局所構造変化を捉える革新的実験手法
- 埋没界面での接着プロセスを可視化する計測システム

【連携・協力体制】

- 先行採択課題との課題間連携による研究推進
- 多様な分野における研究成果の活用展開
- 国内トップレベル研究機関との共同研究体制構築

④ 対象者

- **日本の居住者**（外為法の居住者、特定類型該当者を除く）
- 国内に研究開発拠点を有し日本の法律に基づく法人格を有する機関に所属
- 研究倫理教育プログラムを修了済み、又は応募締切までに修了予定
- 研究開発課題の全実施期間を通じ責任者として従事可能

※風俗営業関連事業者は対象外となります。

⑤ 補足事項

- 研究開発活動における不正行為（捏造、改ざん、盗用）の禁止を誓約
- 委託研究開発費の不正使用を行わないことを誓約
- 採択後の作り込み時にPOとアドバイザーが研究開発費を精査・決定

⑥ 戦略的分析

【採択のポイント】

- **国際競争力のある革新的技術**: 他国に先駆けた独自性の高い技術開発
- 先行課題との**効果的な連携体制**: 既存研究との相乗効果創出
- **多分野応用可能性**: 輸送機以外への展開可能な汎用技術

【戦略的アプローチ】

- **産学官連携体制**: 大学・企業・研究機関の最適な組み合わせ
- 段階的な**技術実証プロセス**: 基礎研究から実用化への明確な道筋
- **国際標準化戦略**: 技術開発と並行した標準化活動

⑦ K Program予算配分傾向



重要技術分野別配分（2024-2025年）: 材料・バイオ技術分野が全体の約30%を占める

平均研究期間: 約4.2年（個別研究型では3-5年が標準）

⑧ 技術領域と応用分野

技術領域	期待される成果・応用
非破壊計測技術	接着界面の内部構造を破壊せずにリアルタイム観測
分子構造解析	化学反応プロセスの詳細メカニズム解明
複合材料工学	航空宇宙・自動車産業への革新的材料提供
インフラ構造	建設・インフラ分野での高強度軽量化実現
品質保証技術	製造プロセスでの接着品質の定量的評価

⑨ 採択率向上のポイント

- **独創性と実用性**: 世界初の技術と**産業応用への明確な道筋**
- **研究体制の最適化**: 分野横断的な専門家チームの構築
- **先行課題との連携**: 既存研究との差別化と相補性の明示
- **社会実装計画**: 研究終了後の事業化・標準化戦略

⑩ 専門家活用のススメ

- **研究計画策定**: 技術的実現可能性と革新性のバランス調整
- **体制構築支援**: 最適な研究機関・企業との連携体制設計
- **評価対策**: 審査委員の視点を踏まえた提案書作成
- **知財戦略**: 研究成果の特許化・事業化戦略立案

⑪ 必要書類とチェックポイント

*このレポートは生成AIにて作成されています【2025/8/5作成】

提出書類	チェックポイント
研究提案書	<ul style="list-style-type: none">□ 指定様式の厳守: 異なる様式は不受理□ 技術的実現可能性の詳細な根拠□ 先行課題との連携方針を明記
研究倫理教育修了証明	<ul style="list-style-type: none">□ 応募締切までの修了が必須□ 修了確認できない場合は不受理
e-Rad登録情報	<ul style="list-style-type: none">□ 日本居住者としての該非確認□ 外為法特定類型の該非確認
研究体制書類	<ul style="list-style-type: none">□ 主たる研究分担者の居住者確認□ 機関承諾書の事前取得

⑫ 申請スケジュール

- 事前準備期間**
提案書作成に2〜3ヶ月程度。研究倫理教育受講必須。
e-Rad登録に2週間以上要するため早期準備が重要。
- 公募期間**
2025年7月8日（火）～10月7日（火）正午
e-Radによる電子申請のみ。
締切までに手続き完了していない場合は審査対象外。
- 書類選考**
10月中旬～12月頃（予定）
- 面接選考**
2026年1月～2月頃（予定）
対面実施、2週間前に通知
- 研究開始**
2026年5月～研究開始。
最長5年間（60ヶ月）の研究期間

⑬ 問い合わせ

制度詳細	https://www.jst.go.jp/k-program/koubo/20250708_index.html
申請システム (e-Rad)	https://www.e-rad.go.jp/
お問い合わせ	国立研究開発法人科学技術振興機構 先端重要技術育成推進部 ※お問い合わせは制度詳細ページよりE-mailでお願いいたします。